

平成 18 年 12 月 13 日
記 者 発 表
国土技術政策総合研究所
道 路 局

「道路の走りやすさマップ “対応カーナビ” 実用化へ」官民共同研究を開始 ～平成 20 年度の実用化を目指し、カーナビメーカー等の民間企業 10 社が参加～

国土交通省では、道路の走りやすさマップのカーナビや Web 路線検索サービス等への展開に向けた具体的な取り組みについて検討を進めるため、以下のとおり、同省国土技術政策総合研究所とカーナビメーカー等の民間企業 6 グループ（合計 10 社）と「走りやすさマップのカーナビ等への活用に関する共同研究」を開始することとしました。

【共同研究実施期間】

平成 18 年 12 月～平成 21 年 2 月

【共同研究参加民間企業】

- ・アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、株式会社デンソー、株式会社トヨタマップマスター
 - ・アルパイン株式会社
 - ・インクリメント・ピー株式会社、株式会社パスコ
 - ・株式会社ケンウッド、株式会社ゼンリン
 - ・住友電工システムソリューション株式会社
 - ・松下電器産業株式会社
- （五十音順）

（参考）

国土交通省では、道路の幅やカーブの大きさなど、道路構造上の「走りやすさ」を表した「走りやすさマップ」の作成に取り組んでおります。平成 17 年度までに、「走りやすさマップ」の九州各県お試し版、全国 17 のモデル地区お試し版を作成・公表するとともに、平成 18 年度より道路重点施策の一環として位置づけ、9 月に全国お試し版を公表致しました。

- 【資料】 別添資料 官民共同研究のスケジュール
参考資料 1 官民共同研究の概要
参考資料 2 走りやすさマップの概要

<問い合わせ先>

国土交通省 国土技術政策総合研究所

高度情報化研究センター 情報基盤研究室 研究官 関本 義秀

代表 029-864-2211 直通 029-864-7492

国土交通省 道路局 道路交通管理課

高度道路交通システム推進室 課長補佐 吉本 紀一

代表 03-5253-8111(内線 37462) 直通 03-5253-8484

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp/>）にも掲載しています。

官民共同研究のスケジュール

- ・ H18年度末までに、サンプルデータ提供(官)および開発計画書作成(民)
- ・ H19年度に、全国版データ提供(官)および製品・試作品の開発(民)
- ・ H20年度に、社会的効果の整理(官)および製品・試作品の開発、ユーザーのニーズ把握(民)

		H18年度	H19年度	H20年度	
マイルストーン		サンプルデータ提供 ▼	全国版データ提供 ▼	最終とりまとめ ▼	
(1)走りやすさデータの集約・提供(官)		サンプル作成 →★提供	全国のデータ作成 →★提供		
(2)カーナビ等への搭載・表示	民	開発計画書作成 →	開発・製作・ユーザーニーズの把握 →		
	官	社会的効果のとりまとめ方針検討 →	社会的効果の整理 →		
(3)とりまとめ		中間とりまとめ ★	年次報告 ★	最終とりまとめ ★	

官民共同研究の概要

参考資料1

～走りやすさマップのカーナビ等への活用に関する研究

- ・平成20年度の実用化を目指し、官民共同研究を開始(研究期間 平成18年12月～平成21年2月)
- ・国土技術政策総合研究所は、全国の走りやすさに関する道路構造情報データの集約・提供を行い、カーナビ等での活用に必要な地図情報項目を検討。
- ・民間は、対応カーナビやWeb路線検索システム(PCや携帯端末からアクセス)を開発。
- ・走りやすさに関するサービスを提供することにより、高齢者等に対する安全運転支援としての効果も期待。

国土技術政策総合研究所の役割

- ・デジタル道路地図への関連付け仕様検討
- ・全国データ集約・提供のための品質確保
- ・効率的なデータ更新の仕組み検討
- ・カーナビ等での活用に必要な地図情報項目を精査



全国の走りやすさに関する道路構造情報データの集約・提供

民間の役割

- ・走りやすさデータのカーナビ等への組込
- ・ルート検索等機能の開発
- ・ユーザーのニーズ調査

連携



カーナビへの展開イメージ



高齢者でも安心して運転できる、走りやすい道路を検索中

走りやすさマップの概要

参考資料2

- 道路の幅、カーブの大きさ・多さ、歩道と車道の分離状況などにより、以下の6段階に分類。
- 高速道路や国道・県道に加え、観光者が利用すると便利と思われる大規模林道や広域農道、主要な市町村道についても情報を提供。
- 平成17年度に九州各県お試し版及びモデル地区お試し版、平成18年9月に全国お試し版を公表
- 更に、走りやすさマップをカーナビ等へ展開するため、平成18年12月から官民共同研究を開始。



通常の地図と走りやすさマップの比較

自動車専用道路 (走りやすさのイメージ)	走りやすさ ランク	走りやすさの分類
	M	「道路の走りやすさ」について、道路の幅、カーブの大きさ・多さ、歩道と車道の分離状況などにより、以下の6段階に分類しました。
自動車専用道路で、スムーズな走行が可能		
郊外部・山地部の道路 (走りやすさのイメージ)	S	
①2車線以上の道路で、5km以上にわたって、カーブ・勾配が緩やか。 ②路幅も広く、歩行者がほとんどいないか、歩道と車道が明確に分離されている。 ③直交する道路との平面交差が平均して1箇所/km以下。		市街地部などの道路 (走りやすさのイメージ)
	A	
①2車線以上の道路で、カーブ・勾配が緩やか。 ②歩道もしくは広い路肩がある。		
	B	
①2車線以上の道路で、緩やかでないカーブ・勾配が多少ある。 ②路幅が狭いところがある。		
	C	
①1車線の道路で緩やかでないカーブがある。 ②2車線以上の道路でもカーブ・急勾配がある。 ③路幅が狭いところがある。		
	D	
①1車線の道路で急カーブが連続。 ②路幅が狭い。		
	走りにくい	①1車線の道路。 ②歩道がない。

走りやすさランク